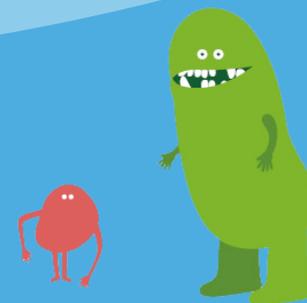
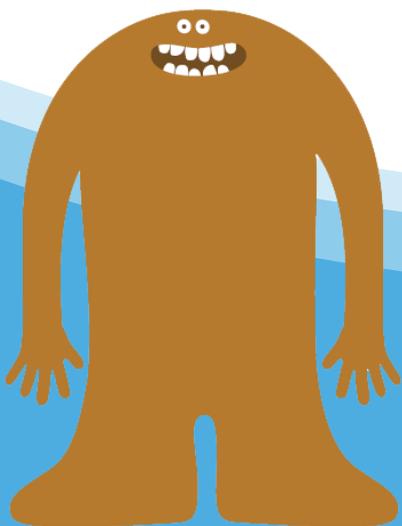


# ナブテスコ株式会社

## 2017年12月期決算説明会

2018年2月19日



1. 2017年12月期連結業績概況

2. 2018年12月期見通し

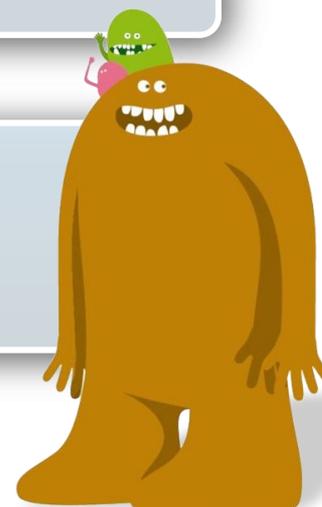
3. 中期経営計画の進捗



## 1. 2017年12月期連結業績概況

## 2. 2018年12月期見通し

## 3. 中期経営計画の進捗



# 2017年12月期通期連結業績概況 (IFRS)

■CMPセグメント\*<sup>1</sup>が好調に推移し、前期比、修正計画比ともCMPセグメントが寄与し増収増益。過去最高の売上、利益を達成。

(単位：百万円)	2016/12 通期実績(A)	2017/12 通期修正計画 (B) 2017/7/31時点	2017/12 通期実績(C)	前期比 増減率 ((C-A)/A)	計画比 増減率 ((C-B)/B)
売上高	244,968	273,000	282,422	15.3%	3.5%
コア営業利益* <sup>2</sup>	25,165	28,400	29,155	15.9%	2.7%
(コア営業利益率)	10.3%	10.4%	10.3%	-	-
営業利益	25,982	28,400	29,468	13.4%	3.8%
(営業利益率)	10.6%	10.4%	10.4%	-	-
金融損益	-237	-	523	-	-
持分法による投資利益	1,034	-	4,915	-	-
税引前当期利益	26,779	32,100	34,907	30.4%	8.7%
当期利益* <sup>3</sup>	18,606	23,900	25,146	35.2%	5.2%

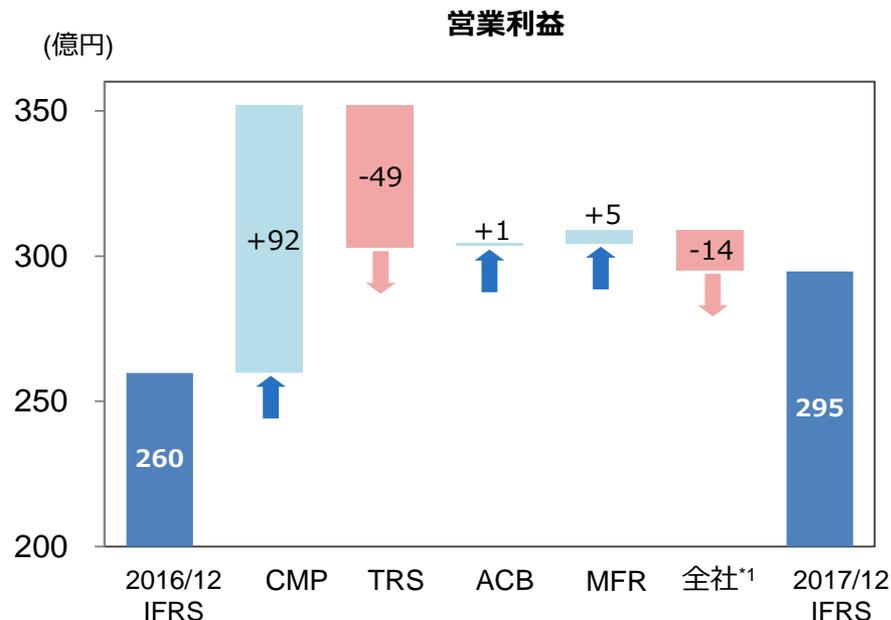
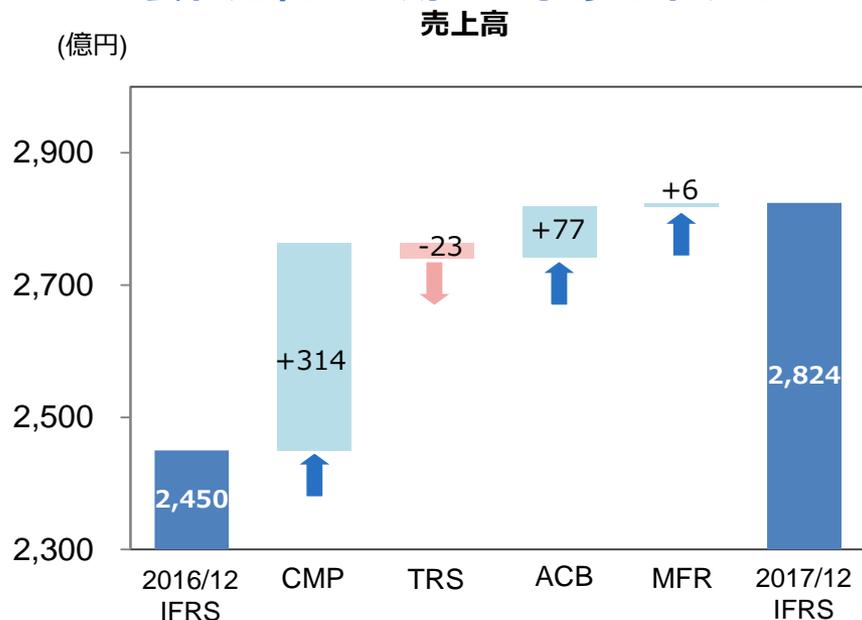
基本的1株当たり 当期利益	150.64円	193.60円	203.85円
一株当たり配当金	50円	68円(予)	72円(予)
配当性向	33.2%	35.1%	35.3%

\*<sup>1</sup> CMPセグメント：コンポーネントソリューションセグメント

\*<sup>2</sup> コア営業利益：売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。 \*<sup>3</sup> 当期利益＝親会社の所有者に帰属する当期利益

# セグメント別売上・営業利益変動要因分析（2016/12通期比）

## ■好調な産業用ロボット向け精密減速機需要・中国の建設機械向けの需要回復および自動ドア販売会社連結化の効果により増収、増益



**コンポーネント(CMP)**：自動化、省人化需要による産業用ロボット向けや一般産業向けの精密減速機が好調。中国の建設機械向け需要で増収、増益。

**トランスポート(TRS)**：鉄道車両用機器は中国高速車両向けで減収。航空機器向けはB777のモデルチェンジの端境期で減収。舶用機器は造船市況の低迷により減収。商用車機器は国内需要が堅調で増収。セグメント全体では減益。

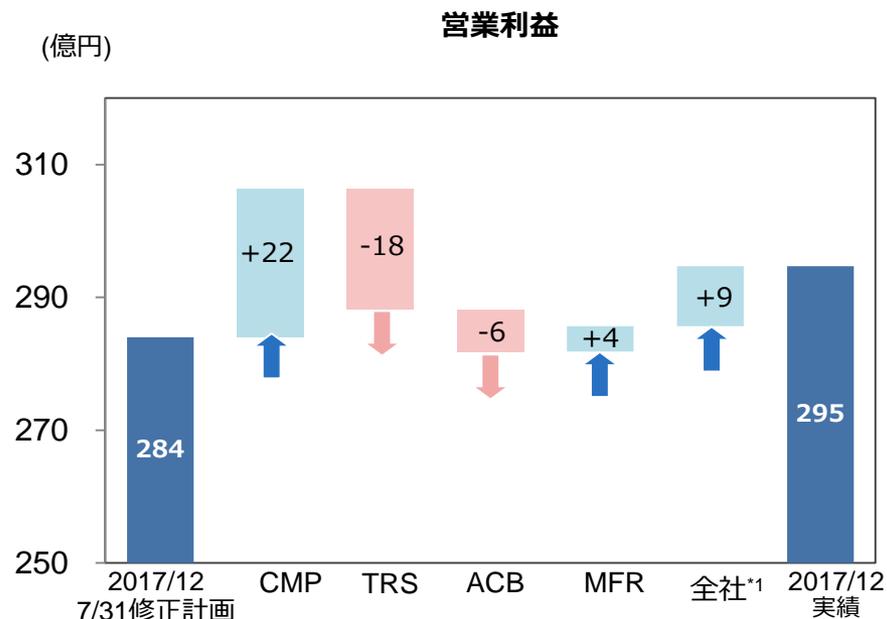
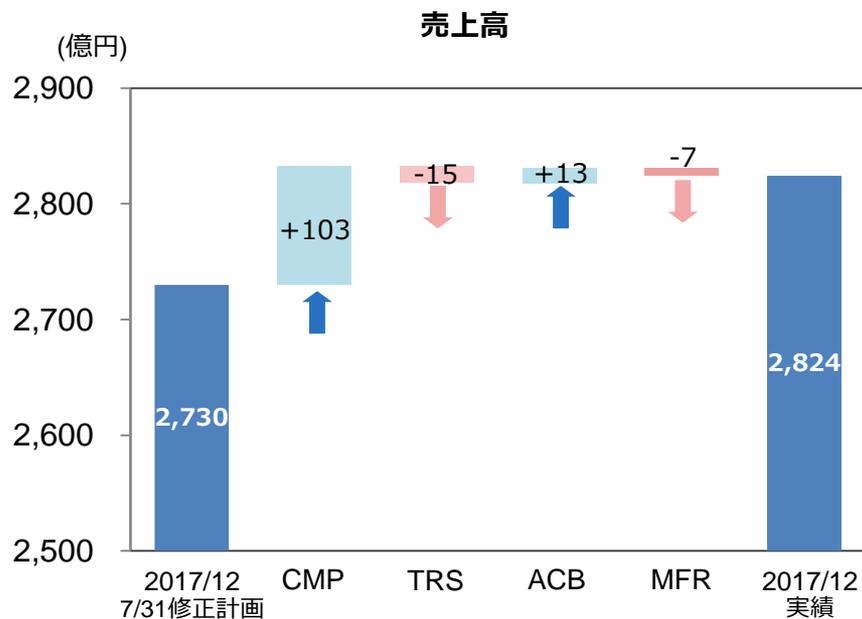
**アクセシビリティ(ACB)**：国内の堅調な需要と買収による連結子会社化(1四半期)で増収も、北米子会社のPMI\*<sup>2</sup>コストにより増益幅は限定的。

**マニュファクチャリング(MFR)**：包装機事業で国内の省人化ニーズを取込むことで増収。

\*1 全社又は消去 \*2 PMI(Post Merger Integration)

# セグメント別売上・営業利益変動要因分析（7/31修正計画比）

## ■CMPセグメントが下期も好調に推移し、計画比増収、増益



**コンポーネント(CMP)** : 上期に引き続き、好調な産業用ロボット向け、一般産業向けの精密減速機需要と中国の建設機械向け需要で増収増益。

**トランスポート(TRS)** : 鉄道車両用機器、航空機器向けともにMRO\*<sup>2</sup>減少により減収。舶用機器は計画並み。商用車機器は拡販遅れによる減収。セグメント全体では減収による減益。

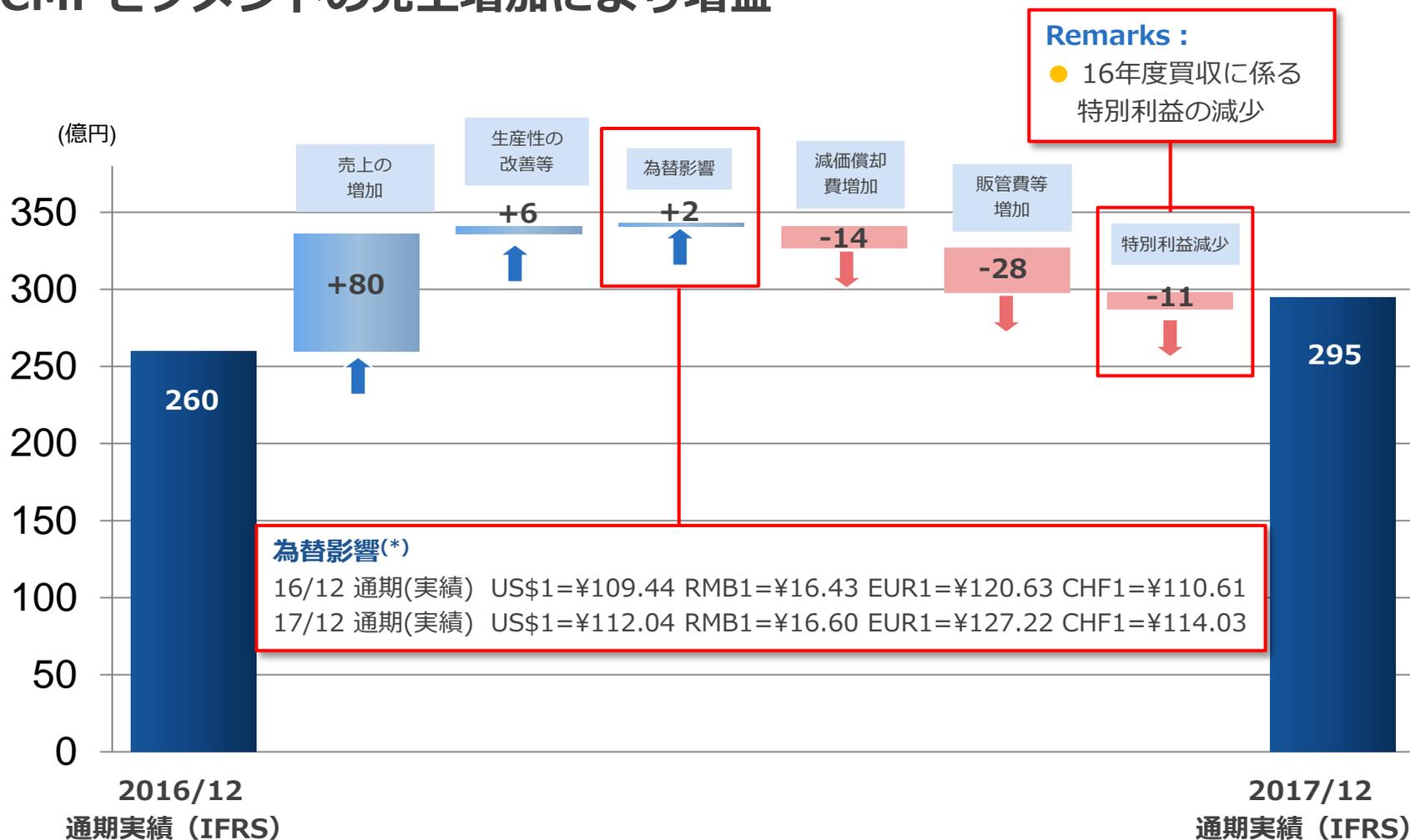
**アクセシビリティ(ACB)** : 国内の売上増と為替効果により増収も、北米子会社のPMI\*<sup>3</sup>遅れにより減益。

**マニュファクチャリング(MFR)** : 包装機事業は国内の省人化ニーズにより堅調も、その他事業の子会社での拡販遅れによりセグメント全体では減収、増益。

\*1 全社又は消去 \*2 Maintenance, Repair and Overhaul \*3 PMI(Post Merger Integration)

# 全社営業利益変動要因分析（2016/12通期比）

## ■CMPセグメントの売上増加により増益



\*為替感応度(為替が1円変動したときの営業利益に対する影響) : 米国ドル 33百万円 人民元 267百万円、ユーロ軽微、スイスフラン軽微

# バランスシート（2016/12期末比）

## ■ 成長投資を着実に実施しつつ、健全なバランスシートを維持

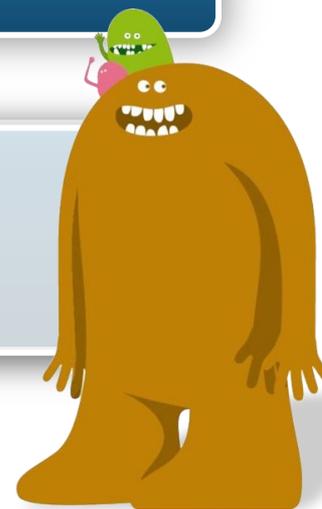
(単位：百万円)

	2016/12期末 2016年12月31日現在	2017/12期末 2017年12月31日現在	差異
資 産	256,973	301,557	44,584
（ 現 預 金 等 ）	41,780	44,121	2,341
（ 営 業 債 権 ）	65,569	76,874	11,305
（ 棚 卸 資 産 ）	32,704	40,298	7,594
（ 有 形 固 定 資 産 ）	63,155	70,700	7,545
負 債	101,070	124,556	23,486
（ 社 債 及 び 借 入 金 ）	16,949	27,720	10,771
資 本	155,904	177,002	21,098
（ 非 支 配 持 分 ）	7,974	9,465	1,491
親 会 社 所 有 者 帰 属 持 分	147,929	167,537	19,607
親会社所有者帰属持分比率：	57.6%	55.6%	-

1. 2017年12月期連結業績概況

2. 2018年12月期見通し

3. 中期経営計画の進捗



# 2018年12月期通期連結業績見通し (IFRS)

- 引き続き好調なCMPセグメントが牽引し、営業利益ベースで10%以上の成長を目指す。

(単位：百万円)	2017/12 通期実績(A)	2018/12 通期計画(B)	前期比 増減額 (B-A)	前期比増減率 ((B-A)/A)
売上高	282,422	308,000	25,578	9.1%
営業利益	29,468	32,600	3,132	10.6%
(営業利益率)	10.4%	10.6%	0.2pt	-
税引前当期利益	34,907	35,900	993	2.8%
当期利益*	25,146	25,700	554	2.2%
一株当たり配当金	72円(予)	73円(予)		
配当性向	35.3%	35.0%		

## Remarks :

- 産業用ロボット向け、一般産業向け減速機需要の増加
- 建設機械市場の好調継続による油圧機器事業売上増

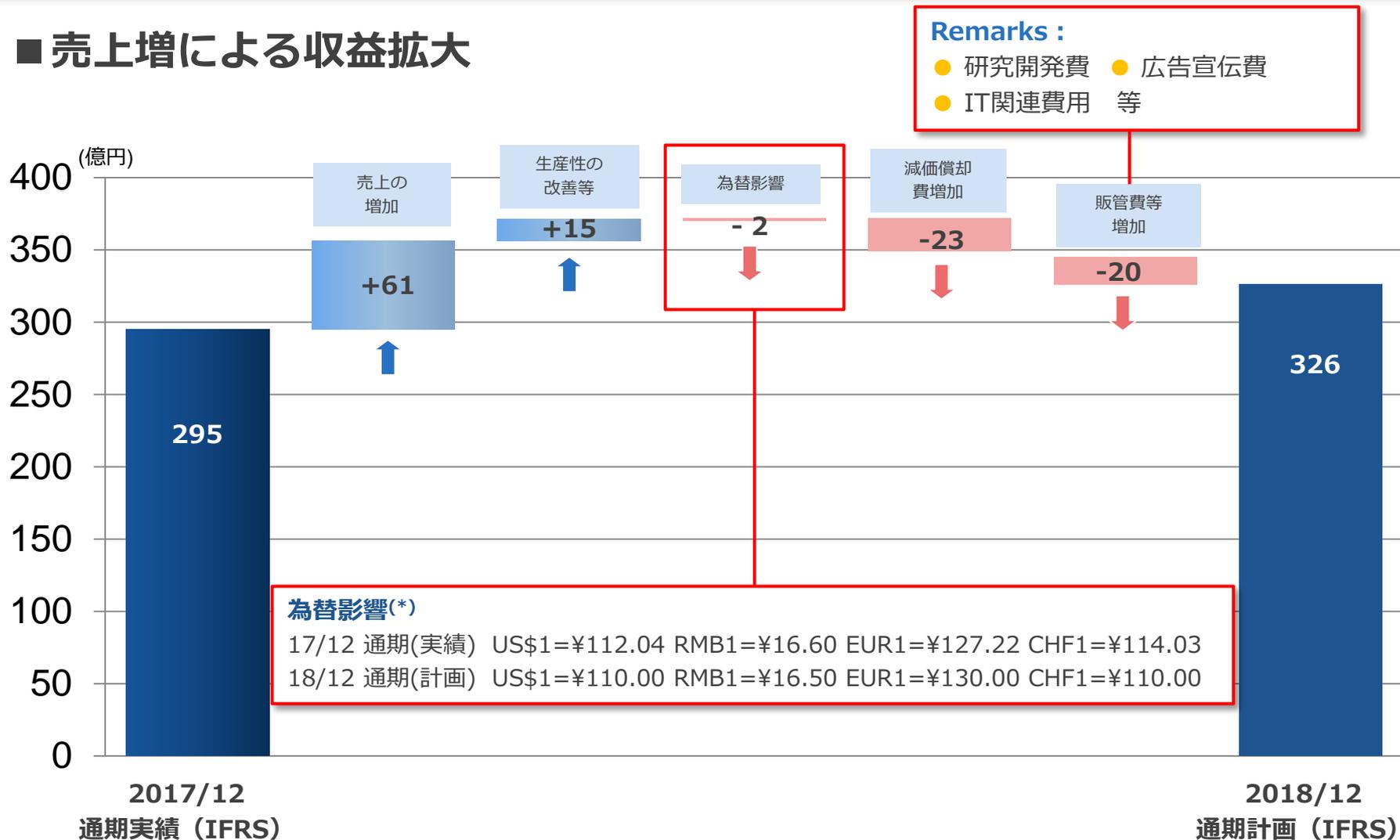
## Remarks :

- 2017/12 通期実績の当期利益から持分法による投資利益約28億円を除くと増加率2.2% → 15.0%

\*当期利益 = 親会社の所有者に帰属する当期利益

# 全社営業利益変動要因分析（2017/12通期比）

## ■ 売上増による収益拡大



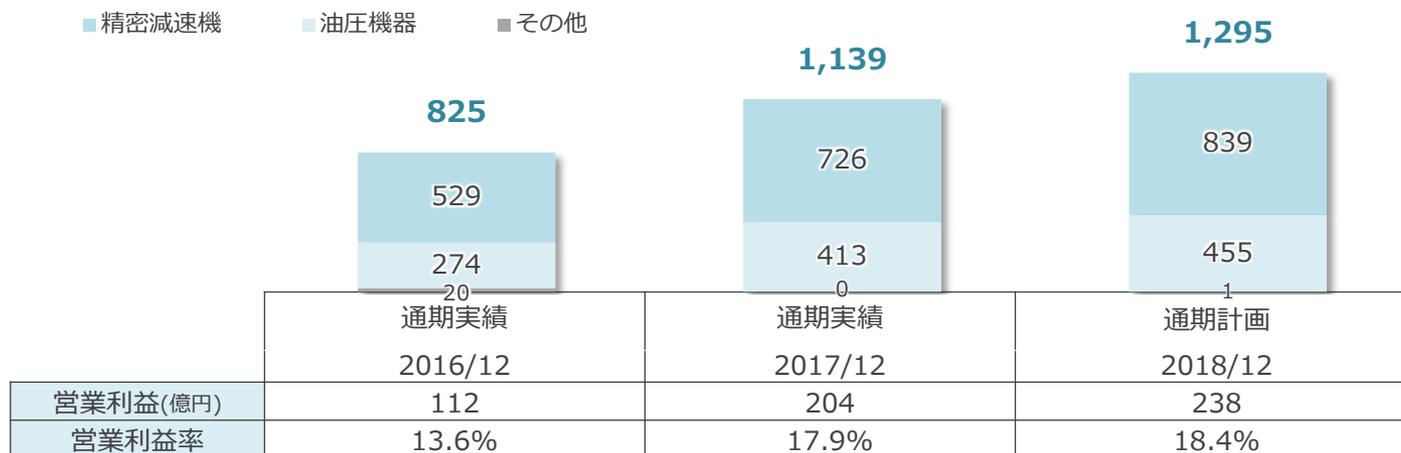
\*為替感応度(為替が1円変動したときの営業利益に対する影響) : 米国ドル 40百万円 人民元 299百万円、ユーロ軽微、スイスフラン軽微

# コンポーネントソリューションセグメント (CMP)

■CMPセグメントは、産業用ロボット向け、一般産業向けの精密減速機需要の好調と世界的な建設機械需要の増加により、増収増益の見通し

## 業績実績及び計画

売上高 (億円)



## 2017/12通期実績 対 2018/12通期計画

精密減速機：自動車産業および一般産業の自動化・省人化の需要に支えられ、産業用ロボット向け、一般産業向けの精密減速機の需要が伸長し、増収の見通し。

油圧機器：世界的に建設機械需要の増加が見込まれ、増収の見通し。

営業利益：増収に伴う増益の見通し。

# トランスポートソリューションセグメント (TRS)

## ■ TRSセグメントは、増収増益の見通し

### 業績実績及び計画

売上高 (億円)

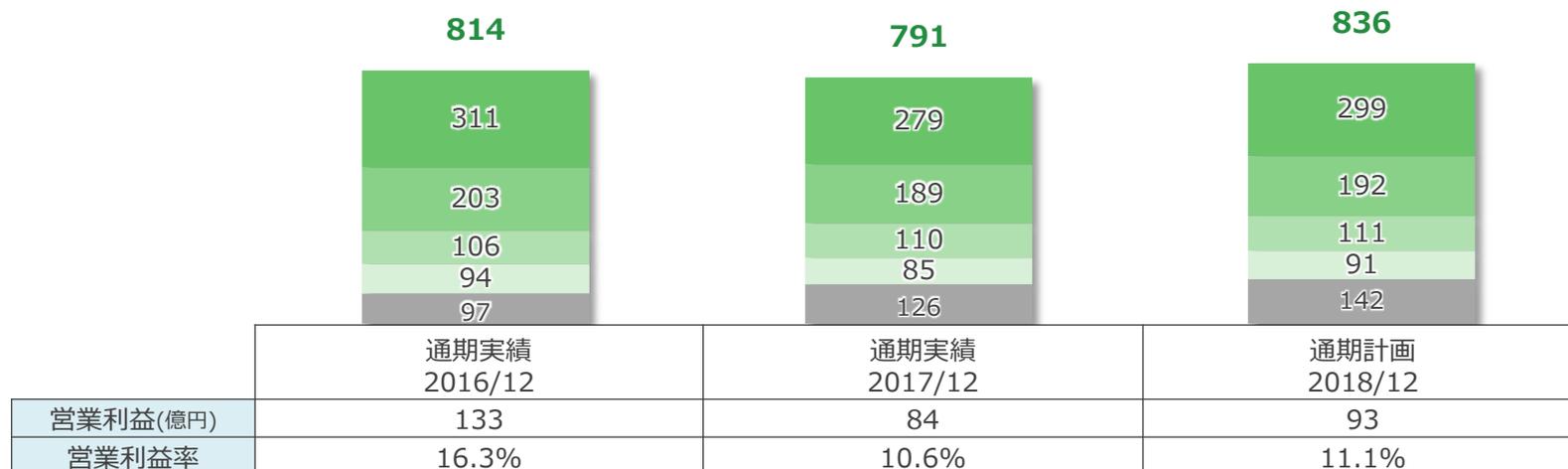
■ 鉄道車両用機器

■ 航空機器

■ 商用車用機器

■ 舶用機器

■ その他



### 2017/12通期実績 対 2018/12通期計画

鉄道車両用機器 : 国内は堅調な需要を取り込み、中国では地下鉄向け受注拡大により、増収の見通し。

航空機器 : 民間航空機向けの端境期が続き、横ばいの見通し。

商用車機器 : 国内と東南アジア向けを中心に、横ばいの見通し。

舶用機器 : 海運市況の緩やかな回復により、増収の見通し。

営業利益 : 増収および積極的なMROの取り込みにより、増益の見通し。

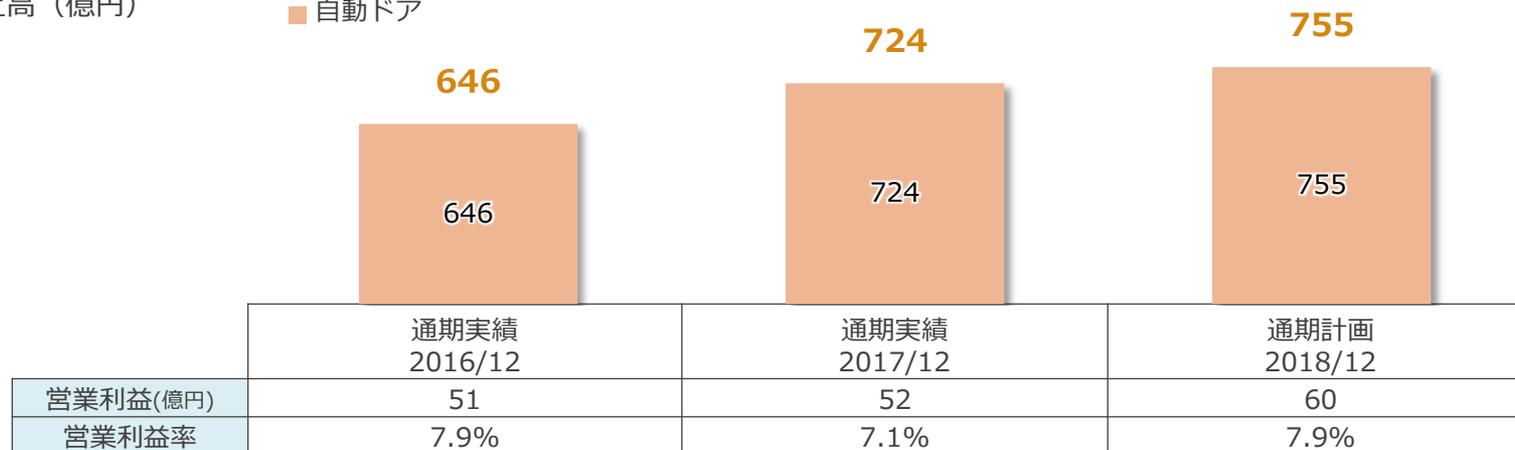
# アクセシビリティソリューションセグメント (ACB)

■ ACBセグメントは、国内外の自動ドア市場が堅調に推移し、増収増益の見通し

## 業績実績及び計画

売上高 (億円)

■ 自動ドア



## 2017/12通期実績 対 2018/12通期計画

自動ドア : 国内外の建物用ドアおよび国内のプラットホームドアの需要を取り込み、増収の見通し。

営業利益 : 北米子会社のPMI\*<sup>1</sup>コストが減少するも、戦略投資を織込み微増の見通し。

\*1 PMI(Post Merger Integration)

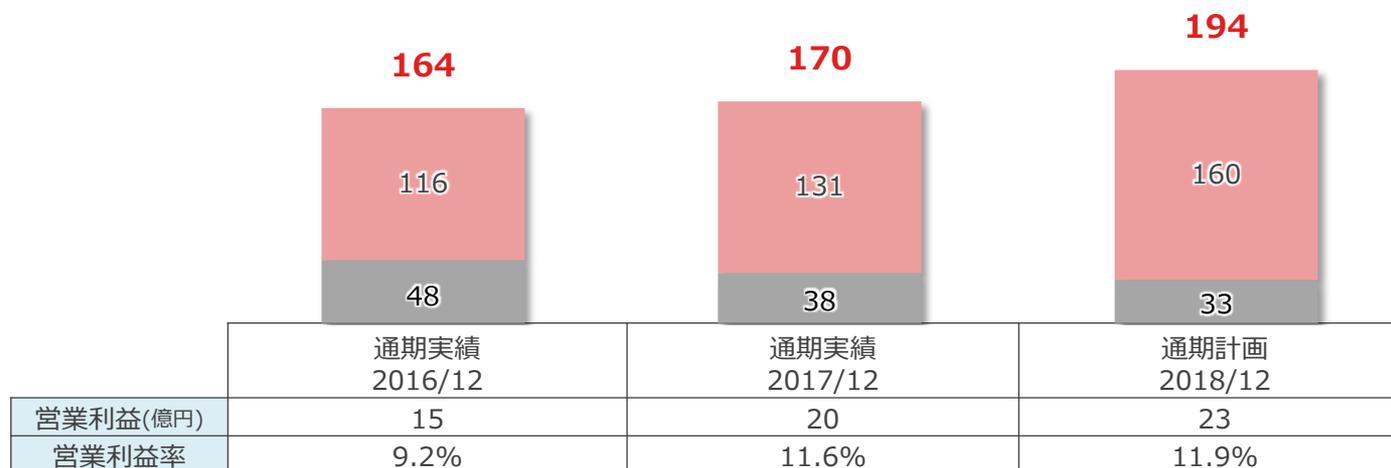
# マニュファクチャリングソリューションセグメント (MFR)

■ MFRセグメントは、包装機事業での好調な国内外食品産業向けの需要により、増収増益の見通し

## 業績実績及び計画

売上高 (億円)

■ 包装機 ■ その他



## 2017/12通期実績 対 2018/12通期計画

包装機 : 省人化・自動化を背景とした好調な食品産業向けの需要と東南アジアでの拡販により、増収の見通し。

営業利益 : 増収に伴う増益の見通し。

## ■ 将来成長のために、精密減速機を中心に設備投資を実施。

精密減速機：日本工場及び中国工場における生産能力増強

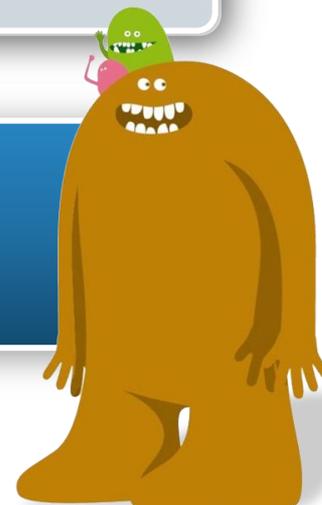
航空機器：新プログラムに向けた増産体制構築

(単位：億円)	2016/12 通期実績	2017/12 通期実績	2018/12 通期計画
設備投資額	145	155	304
研究開発費	74	87	102
減価償却費	74	90	112

1. 2017年12月期連結業績概況

2. 2018年12月期見通し

3. 中期経営計画の進捗



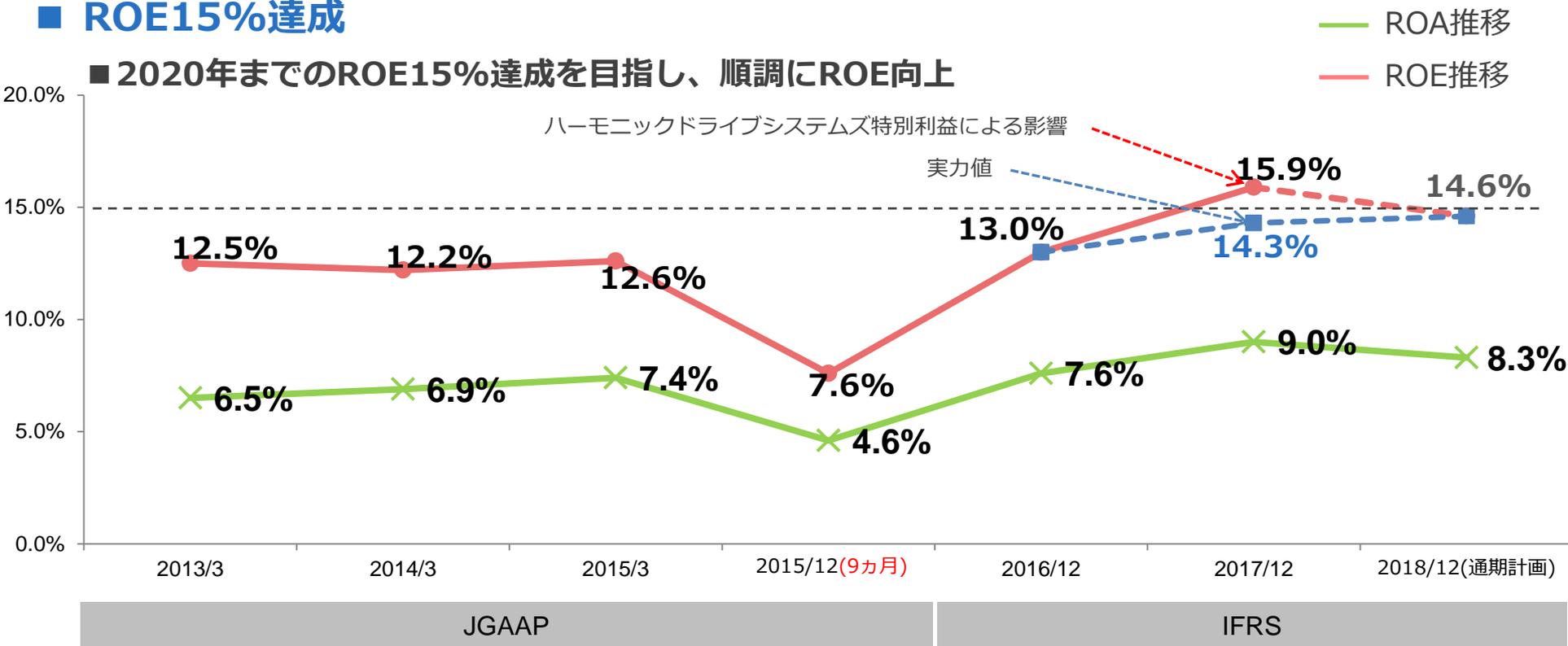
# 中期経営計画の進捗～ROE15%達成～

## ■ 中期計画進捗

- 中期経営計画初年度は想定を上回る実績
- 本年度中に中期経営計画の見直しを検討

## ■ ROE15%達成

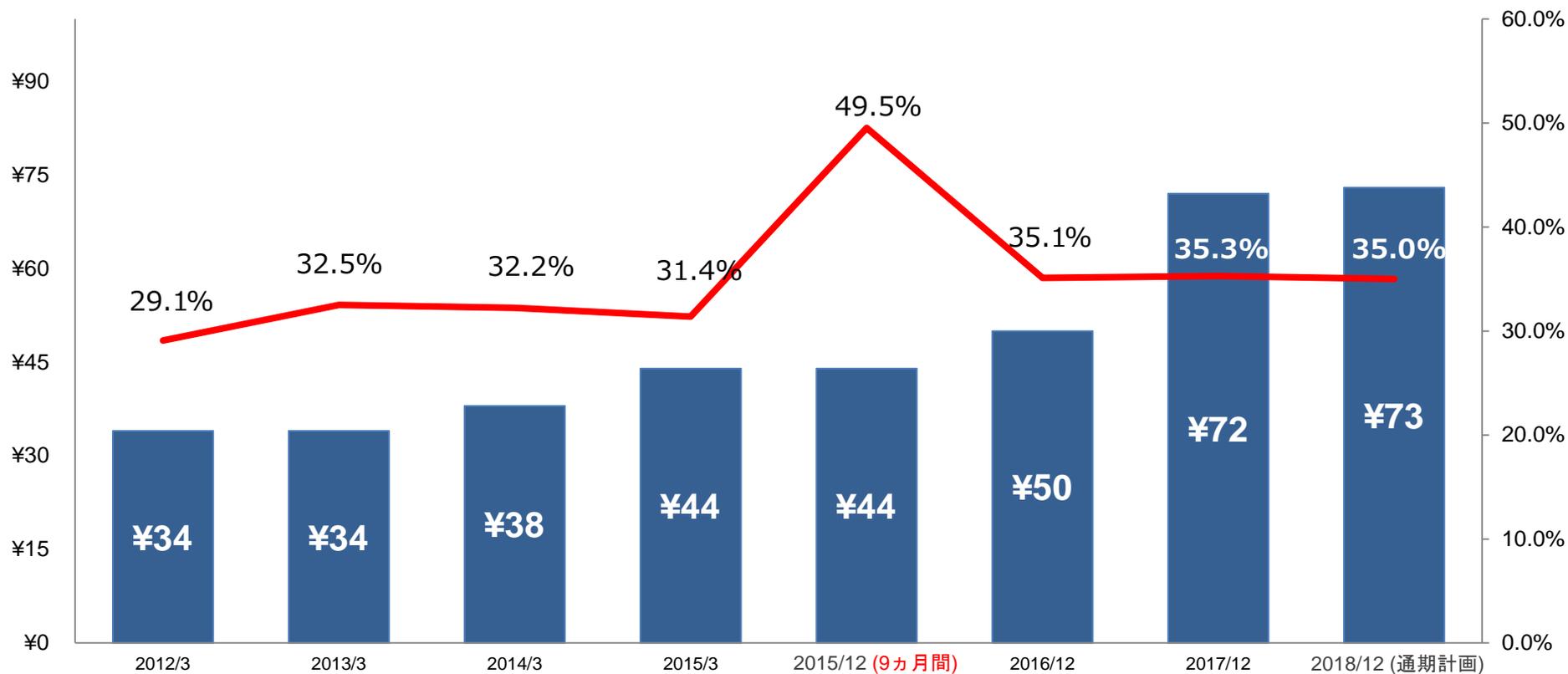
- 2020年までのROE15%達成を目指し、順調にROE向上



# 中期経営計画の進捗～連結配当性向35%以上～

## ■ 連結配当性向35%以上

■ 2017年の配当性向は35.3%（2018年以降も配当性向35.0%以上を維持）



# 中期経営計画の進捗～ESG課題の解決に注力～

## ■ ESG課題の解決に注力

■ 2017年3月 2016年 ボーイング・サプライヤー・オブ・ザ・イヤーを受賞（環境部門）

■ 2017年7月 当社のCO<sub>2</sub>削減目標が「Science Based Targets (SBT)イニシアチブ」の承認を取得

(2015年度比)	2030年	2050年
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	-30%	-80%

### ■ 2017年～ 環境設備投資を積極的に実施

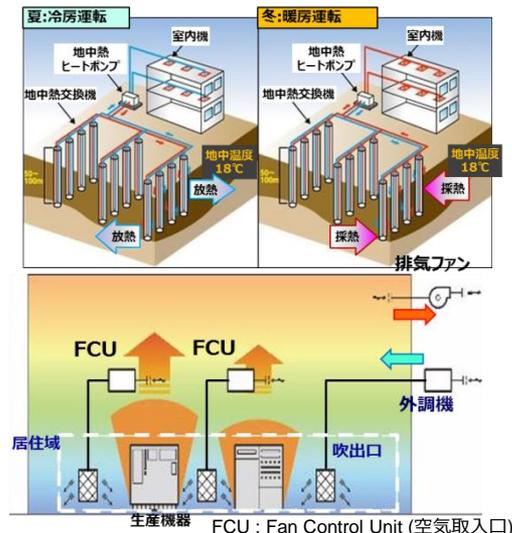
#### ■ 環境設備投資額の推移



#### ■ 2017年10月 CDPから気候変動対応の評価：

評価項目	認定結果
気候変動	Aリスト企業に認定
水資源管理	A-企業に認定

■ 2018年1月 CDP から“サプライヤー企業”の気候変動対応に対する最高評価「The Supplier Climate A List 2018」に認定



# Appendix

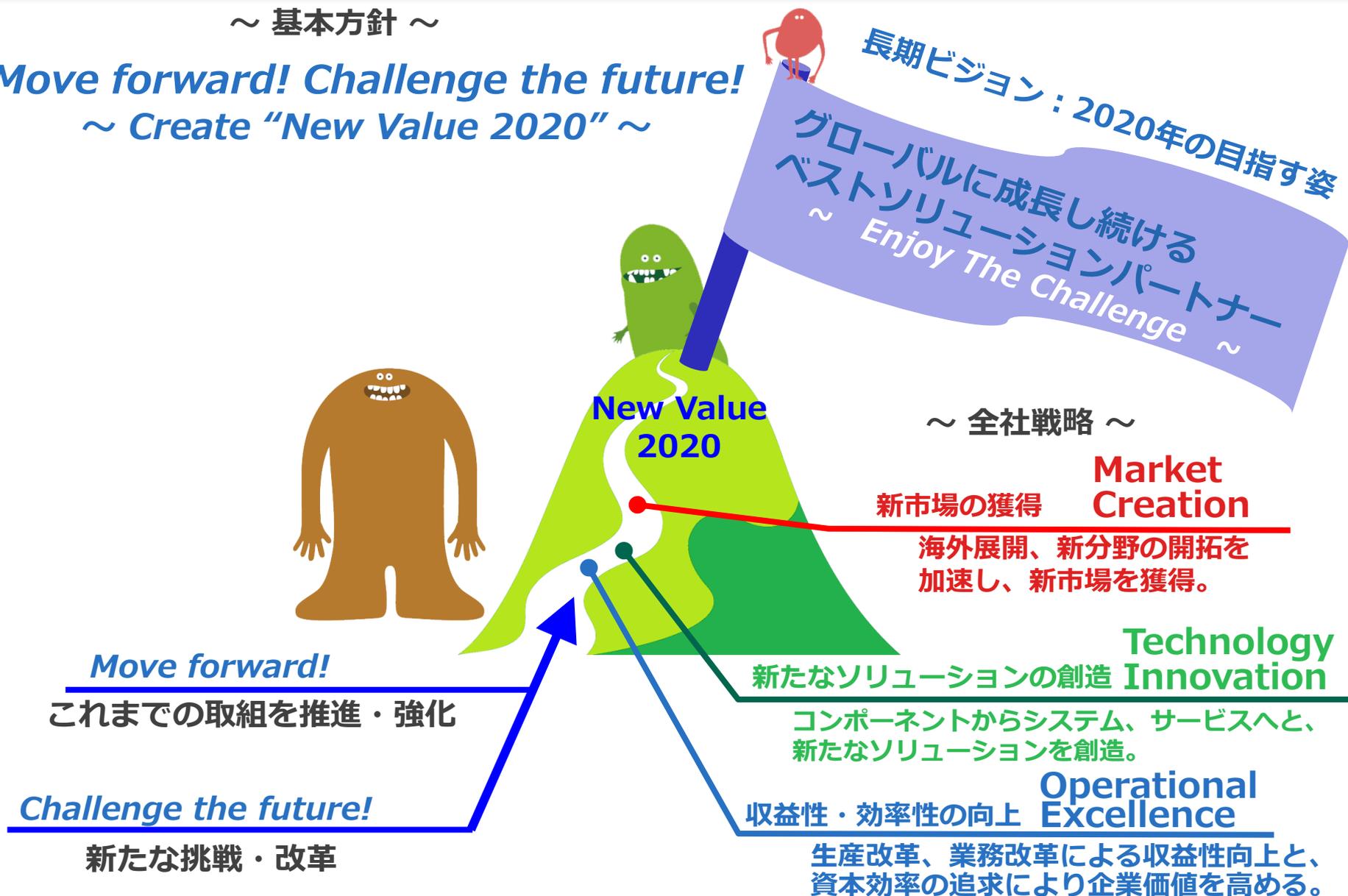


# 中期経営計画の基本方針

～ 基本方針 ～

**Move forward! Challenge the future!**

～ Create "New Value 2020" ～



# 中期経営計画に対する2017年の取り組み

## ■ Market Creation . . . 海外展開、新分野の開拓を加速し、新市場を獲得

- 欧州進出及び既存の欧州事業の統括管理によるオペレーション基盤強化を目指し、欧州地域統括会社設立
- 鉄道車両用機器事業において、欧州市場参入を目指し、認証取得に向けて活動中
- 鉄道車両用機器事業において、中国地下鉄向け事業を拡大
- 東南アジア向けアフターサービス拠点をタイに設立
- インドの輸入・販売・アフターサービスの現地法人による事業開始

## ■ Technology Innovation . . . コンポーネントからシステム、サービスへと、新たなソリューションを創造

- システム化・メカトロニクス化技術取得のため、ドイツ OVALO GmbHを買収
- 「ナブテスコR&D センター」を設立し、一体的な研究開発マネジメント体制を構築
- 油圧機器事業において、2015年に買収したハイエストコーポレーションとの共同開発による新製品を発売

## ■ Operational Excellence . . . 生産改革、業務改革による収益性向上と、資本効率の追求により企業価値を高める

- 生産の高自動化、ロボット導入による生産性向上（2020年までに10.0%向上）に向けた活動を開始
- 間接業務自動化ツール導入
- 業務執行責任のさらなる明確化を目指し、新執行体制の開始日を事業年度と統一

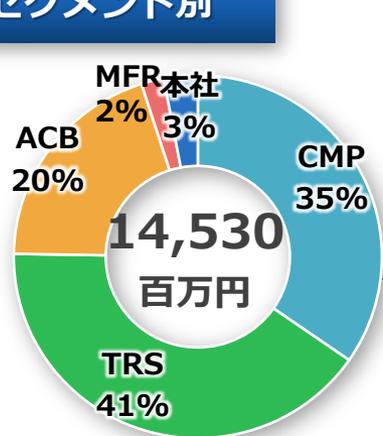
**ROE15%達成**

**連結配当性向35%以上**

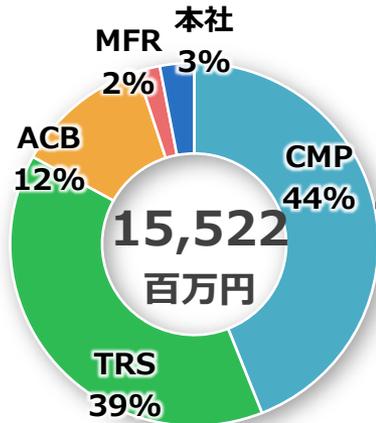
**ESG課題の解決に注力**

# 設備投資額内訳

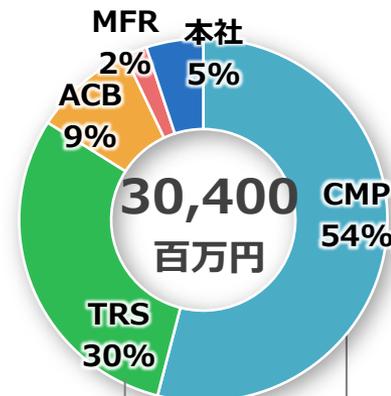
## セグメント別



- 精密減速機  
-中国新工場設備納入等

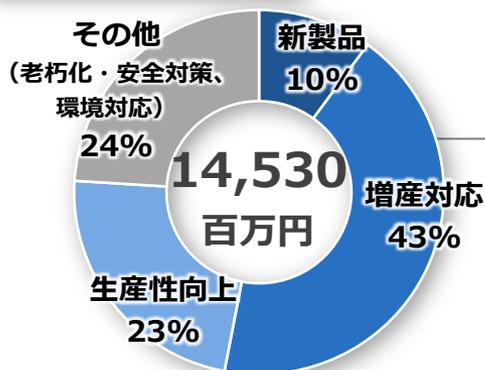


- 環境関連投資
- 研究開発関連投資

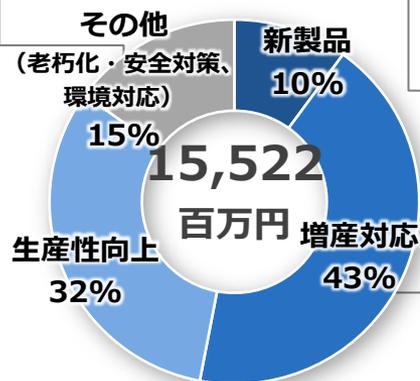


- 精密減速機  
-日本中国での増産投資
- 航空機器  
-岐阜工場設備増強

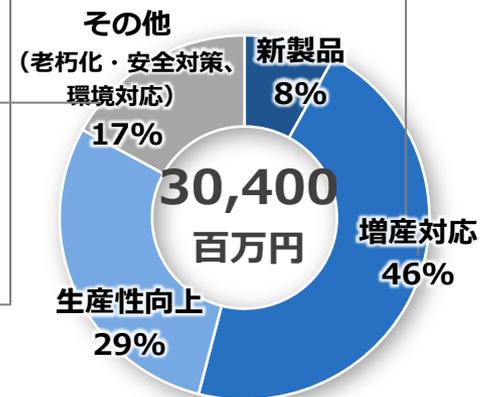
## 目的別



2016/12通期実績

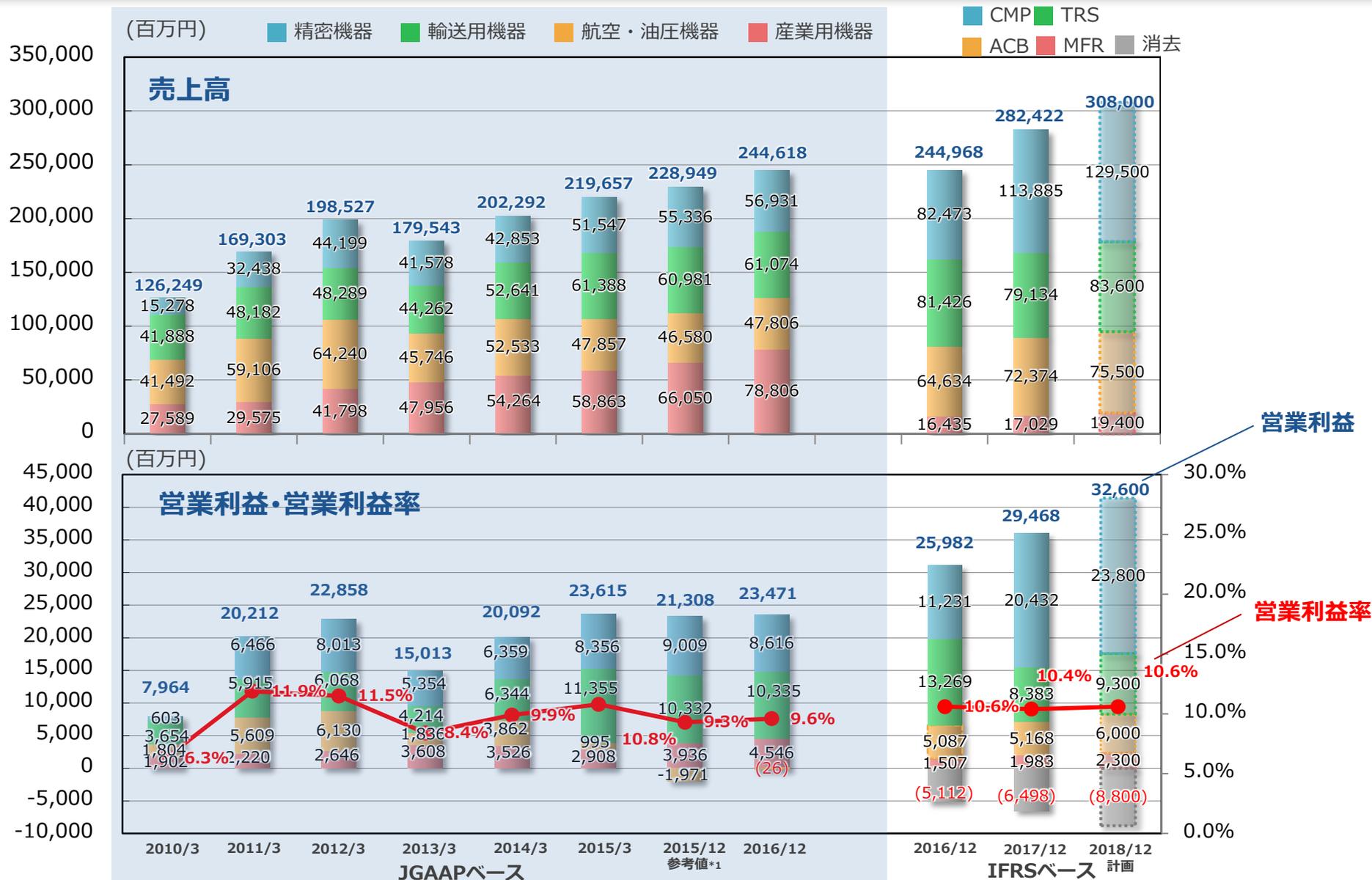


2017/12通期実績



2018/12通期計画

# 事業セグメント別 売上高・営業利益推移(12カ月)

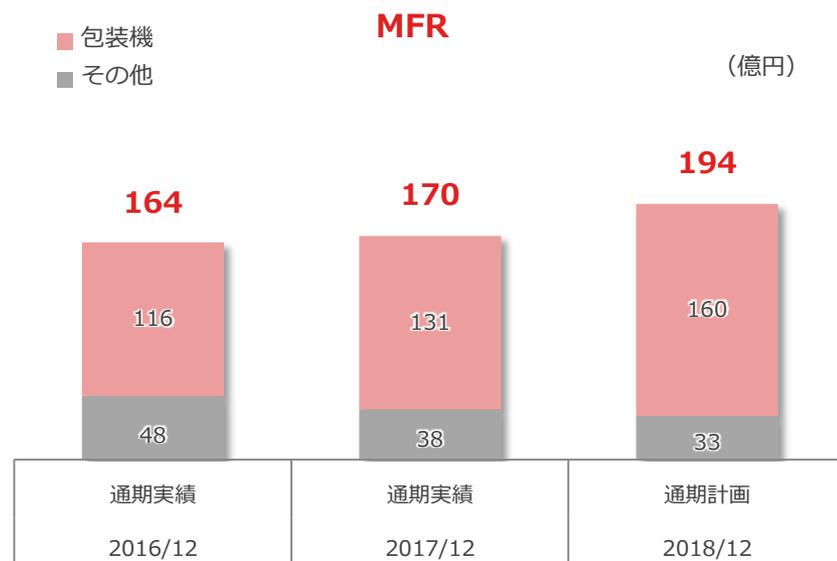
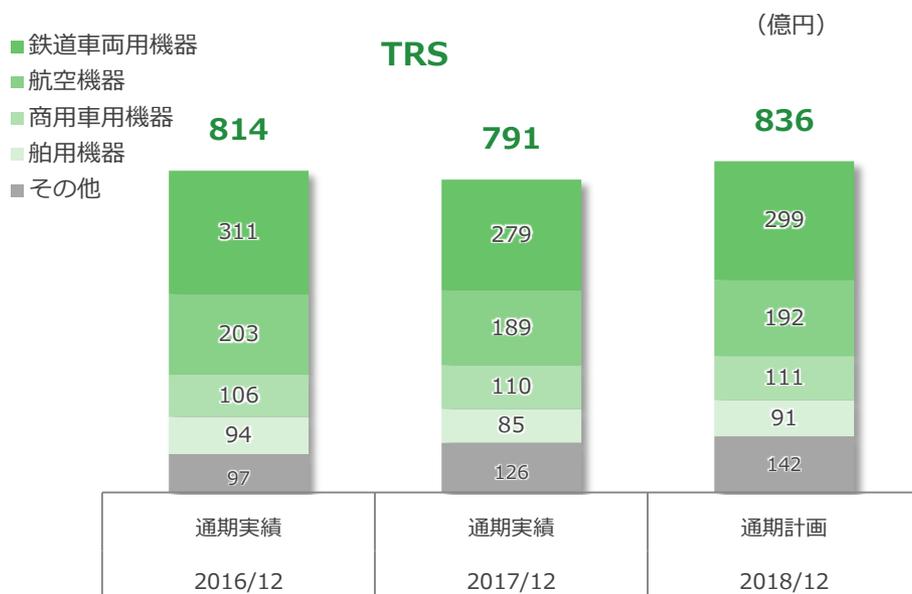
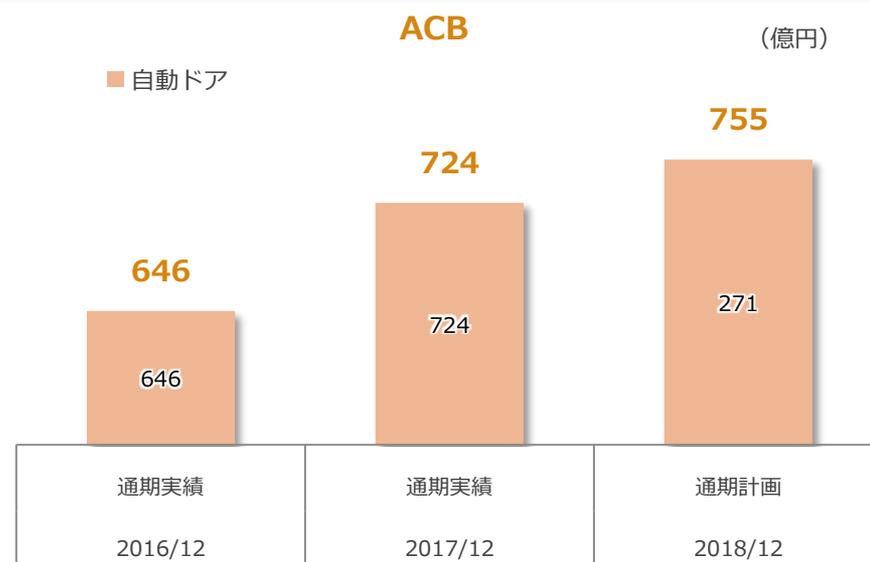
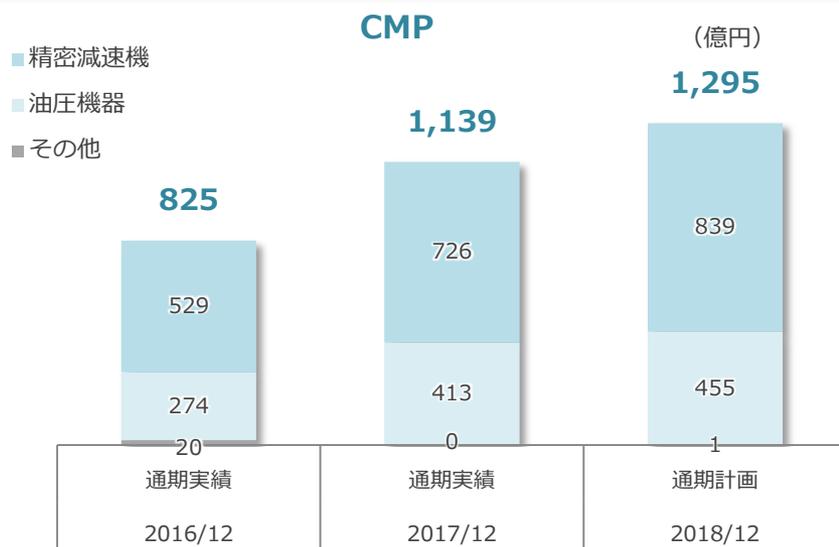


\*1 「2015/12参考値」は、「2016/12」に対して、同条件で比較を行うため比較対象期間を同期間(12カ月間)に置き換えて算出した数値となりますのでご注意ください。

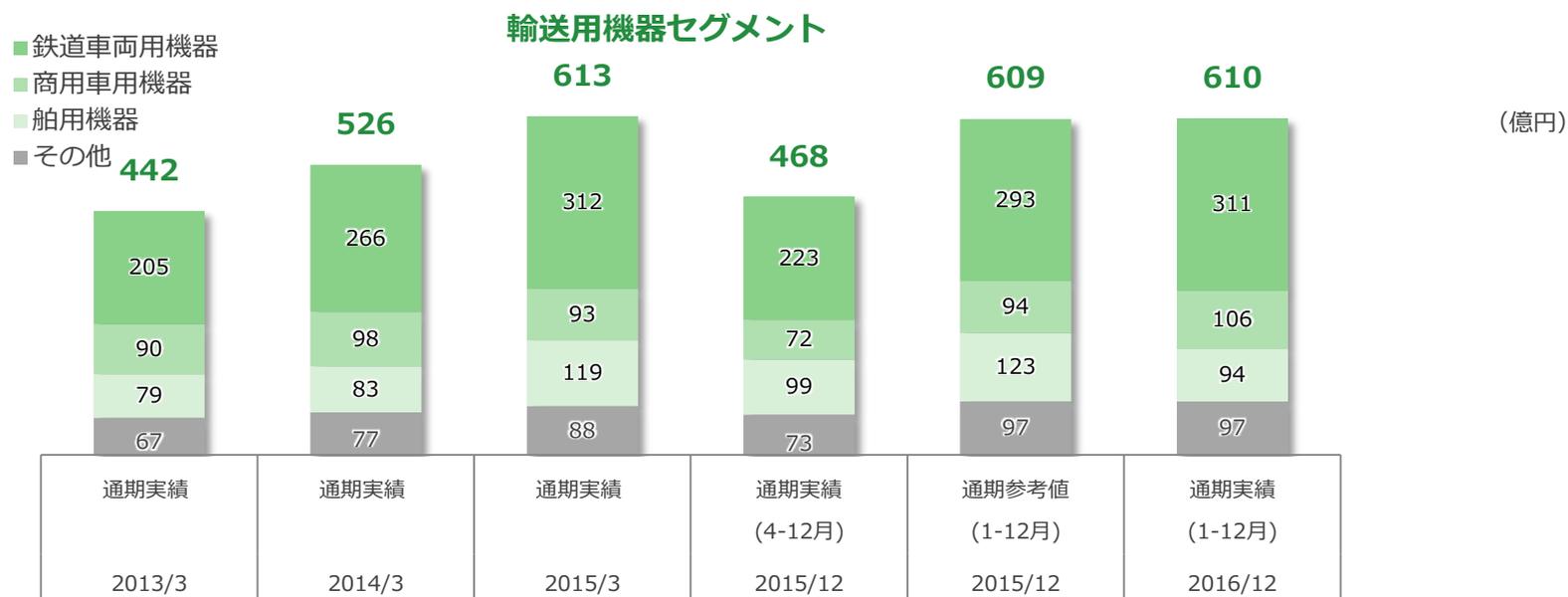
# 通期セグメント別業績概況

(単位：百万円) セグメント	項目	2016/12 実績	2017/12 修正計画	2017/12 実績	2018/12 通期計画	2020/12 中期計画参考値
コンポーネント ソリューション (CMP)	売上高	82,473	103,600	113,885	129,500	118,400
	営業利益 (営業利益率)	11,231 (13.6%)	18,200 (17.6%)	20,432 (17.9%)	23,800 (18.4%)	22,200 (18.8%)
トランスポート ソリューション (TRS)	売上高	81,426	80,600	79,134	83,600	104,400
	営業利益 (営業利益率)	13,269 (16.3%)	10,200 (12.7%)	8,383 (10.6%)	9,300 (11.1%)	17,200 (16.5%)
アクセシビリティ ソリューション (ACB)	売上高	64,634	71,100	72,374	75,500	79,200
	営業利益 (営業利益率)	5,087 (7.9%)	5,800 (8.2%)	5,168 (7.1%)	6,000 (7.9%)	7,900 (10.0%)
マニファクチャ リング ソリューション (MFR)	売上高	16,435	17,700	17,029	19,400	27,700
	営業利益 (営業利益率)	1,507 (9.2%)	1,600 (9.0%)	1,983 (11.6%)	2,300 (11.9%)	3,200 (11.6%)
本社又は消去		-5,112	-7,400	-6,498	-8,800	-8,500
連結合計	売上高	244,968	273,000	282,422	308,000	330,000
	営業利益 (営業利益率)	25,982 (10.6%)	28,400 (10.4%)	29,468 (10.4%)	32,600 (10.6%)	42,000

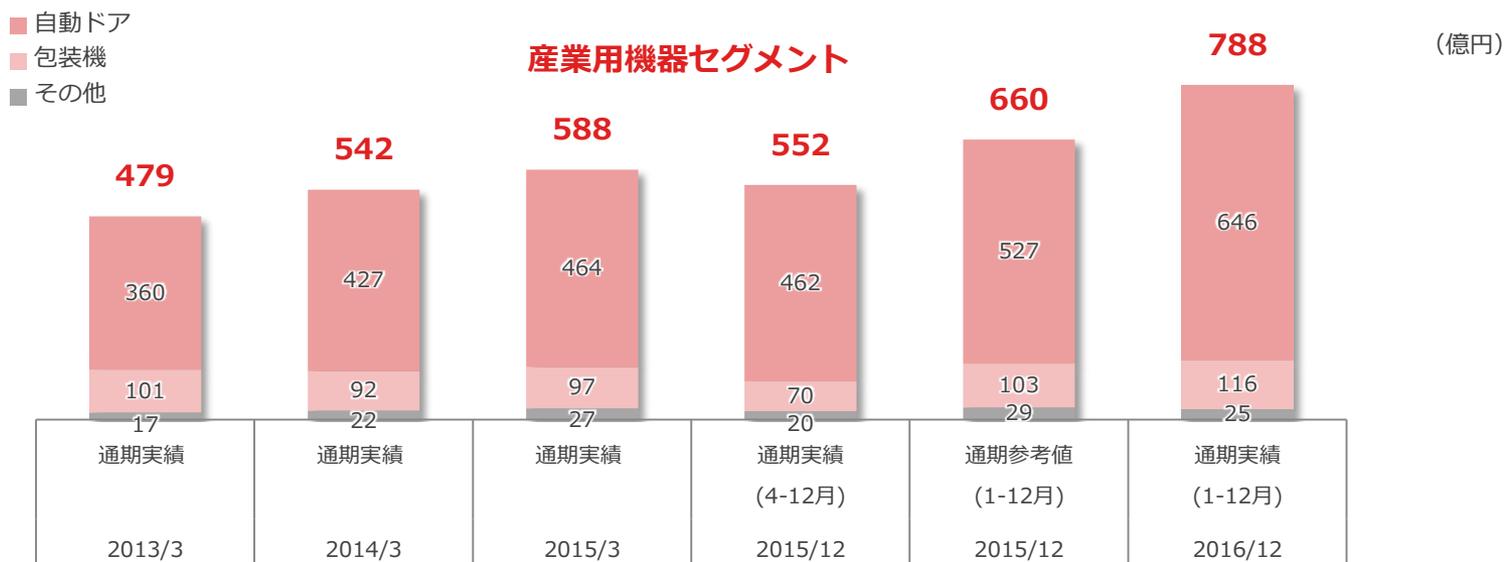
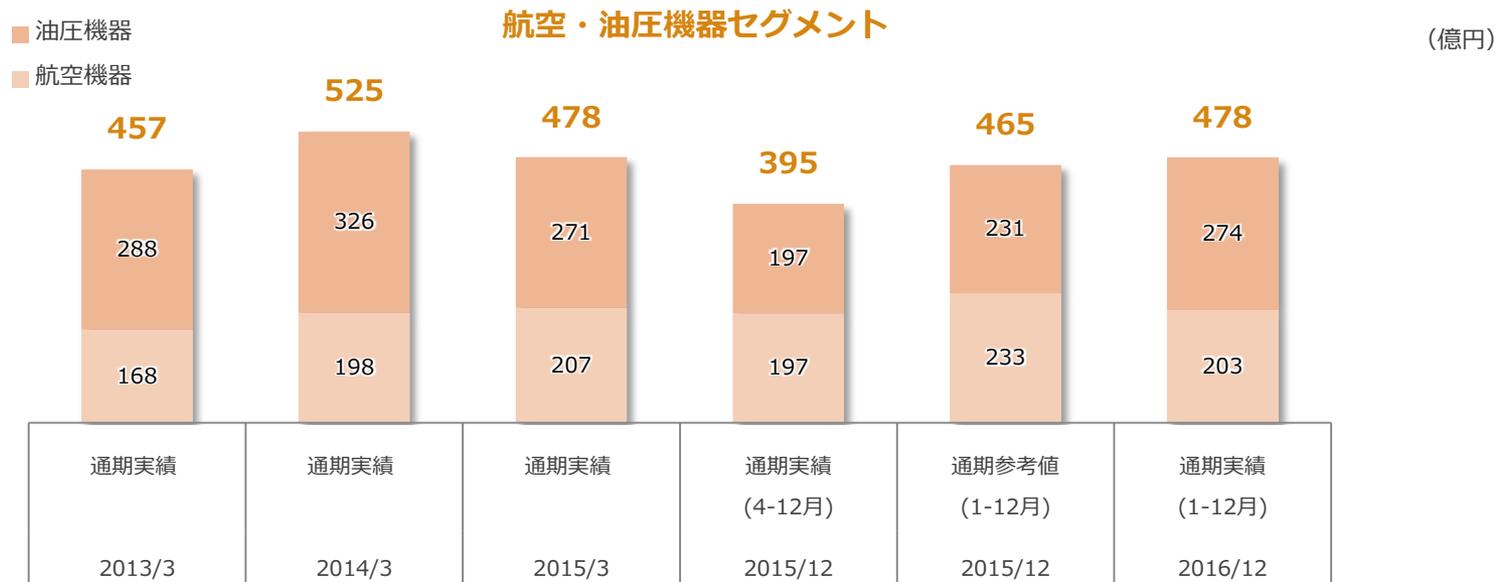
# 事業別 売上高推移 (IFRS)



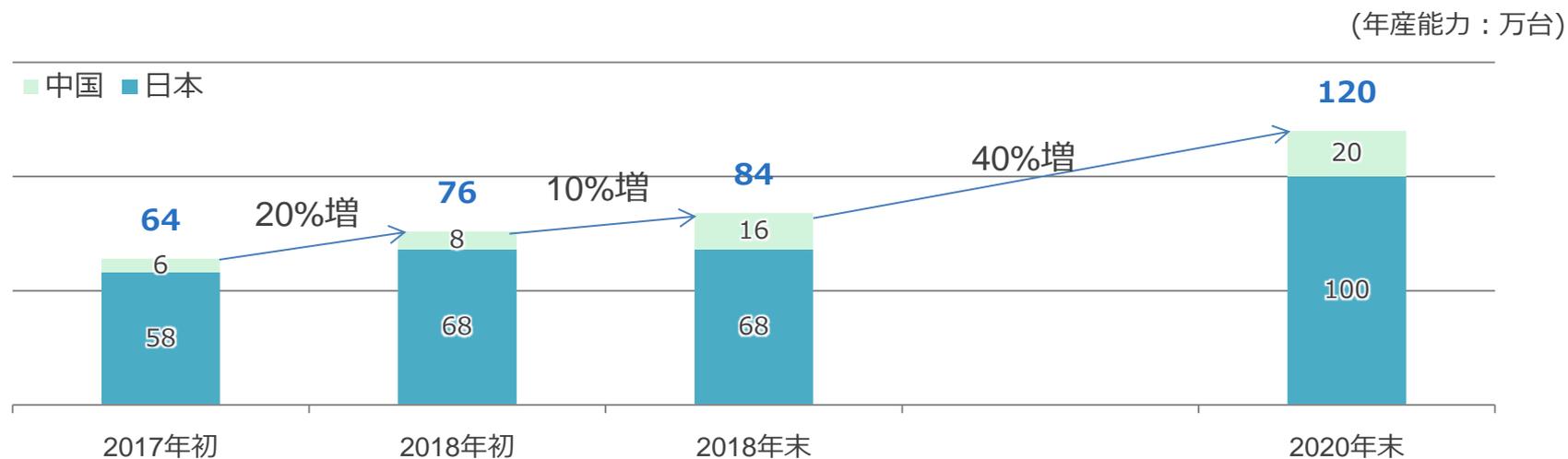
# 事業別 売上高推移 (JGAAP)



# 事業別 売上高推移 (JGAAP)



## 精密減速機 定時生産能力拡張



■ 2020年までに日本工場と中国工場を合わせて、年産120万台体制を目指す。

## CMPセグメント 精密減速機

日本ロボット工業会によると、17年7～9月期のロボットの生産額は1890億円で、**前年同期比で34%増えた**。先行きにも強気で、**18年通年の生産額は前年比1割増の1兆円を見込む**。工業会の会長も務めるファナックの稲葉会長は「需要拡大は今後5年なんてものじゃない。2兆円も通過点だ」と強調する。

2018年1月28日 日経ヴェリタス記事

## CMPセグメント 建設機械

日本建設機械工業会が31日発表した2017年の建設機械出荷額（補給部品を含む総額）は、**16年比19.1%増の2兆5513億円で、3年ぶりに増加した**。インフラや住宅建設で建機需要が高まった北米やアジアなど外需が全体をけん引し、国内も排ガス規制の強化を控えた駆け込み購入が広がった。海外では世界的な景気拡大を追い風に、幅広い地域向けに出荷が伸びている。**中国は建機の現地生産が多いが、16年末から中国市場が持ち直し、17年は年間を通して需要が安定的に推移した**。

2018年2月2日 日経産業新聞

「中国の建機販売は高い伸びが持続している」。1月31日の電話会見でコマツの稲垣泰弘常務執行役員はこう語った。

2018年2月1日 日経新聞

## TRSセグメント 船用機器

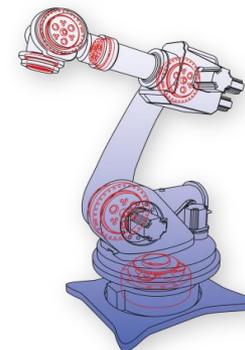
海運会社は中国の環境規制が追い風だ。中国の鉄鋼メーカーが品質の高いブラジル産やオーストラリア産の鉄鉱石の使用を増やし、**荷動きが活発化している**。資源を運ぶばら積み船の運賃指標の**バルチック海運指数は17年平均で4年ぶりの高い水準だった**。

2018年2月4日 日経ヴェリタス記事

# コンポーネントソリューションセグメント (CMP) 主要製品

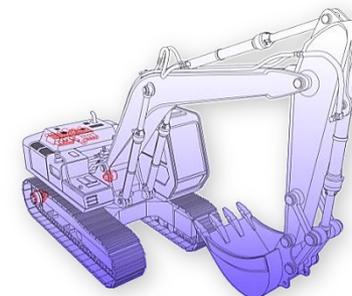
## 精密減速機

### ■ 産業用ロボットの関節用途



## 油圧機器

### ■ パワーショベル用走行ユニット



### ■ 風力発電用駆動装置



## 主要顧客 (敬称略)

### ■ 精密減速機

産業用ロボット：ファナック、安川電機、川崎重工業、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)

工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、DMG森精機

### ■ 油圧機器

走行ユニット：コマツ、コベルコ建機、住友建機、Sany (中)、XCMG (中)、Liu Gong (中)

風力発電機用駆動装置：三菱重工業、日立製作所、他

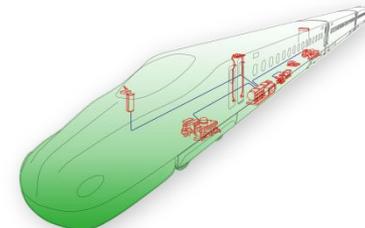
# トランスポートソリューションセグメント (TRS) 主要製品

## 鉄道車両用機器

### ■ 鉄道車両用ブレーキシステム



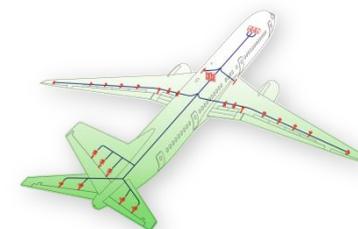
### ■ 鉄道車両用ドア開閉装置



## 航空機器

### ■ フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)

- FCAでは世界4強の1社(ボーイングの主要サプライヤー)
- エンジン補機、電源システム等へも事業展開



## 主要顧客 (敬称略)

### ■ 鉄道車両用機器

JR各社、民鉄各社、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け

### ■ 航空機器

Boeing (米)、川崎重工業、三菱重工業、IHI、防衛省、エアライン各社

# トランスポートソリューションセグメント (TRS) 主要製品

## 商用車用機器

### ■ 商用車用ウェッジチャンバー

Others



No.1

国内シェア約**70%**

### ■ 商用車用エアドライヤー

Others



No.1

国内シェア約**75%**



## 舶用機器

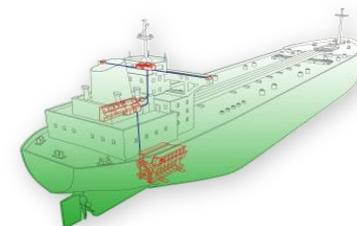
### ■ 舶用エンジン遠隔制御システム

Others



No.1

国内シェア約**50%**  
(世界シェア約40%)



## 主要顧客 (敬称略)

### ■ 商用車用機器

日野自動車、いすゞ自動車、三菱ふそうトラック・バス、UDトラックス

### ■ 舶用機器

川崎重工業、三井造船、(株)マキタ、日立造船、三菱重工業、  
Hyundai Heavy Industries (韓)、Doosan Engine (韓)、Hudong Heavy Machinery (中)、MAN Diesel (デンマーク)

# アクセシビリティソリューションセグメント (ACB) 主要製品

## 自動ドア

### ■自動ドア開閉装置



### ■プラットホームスクリーンドア



## 主要顧客 (敬称略)

### ■自動ドア

各種建物用自動ドア：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関  
プラットホームドア：フランス地下鉄、中国地下鉄、他

# マニュファクチャリングソリューションセグメント (MFR) 主要製品

## 包装機

### ■レトルト食品用充填包装機



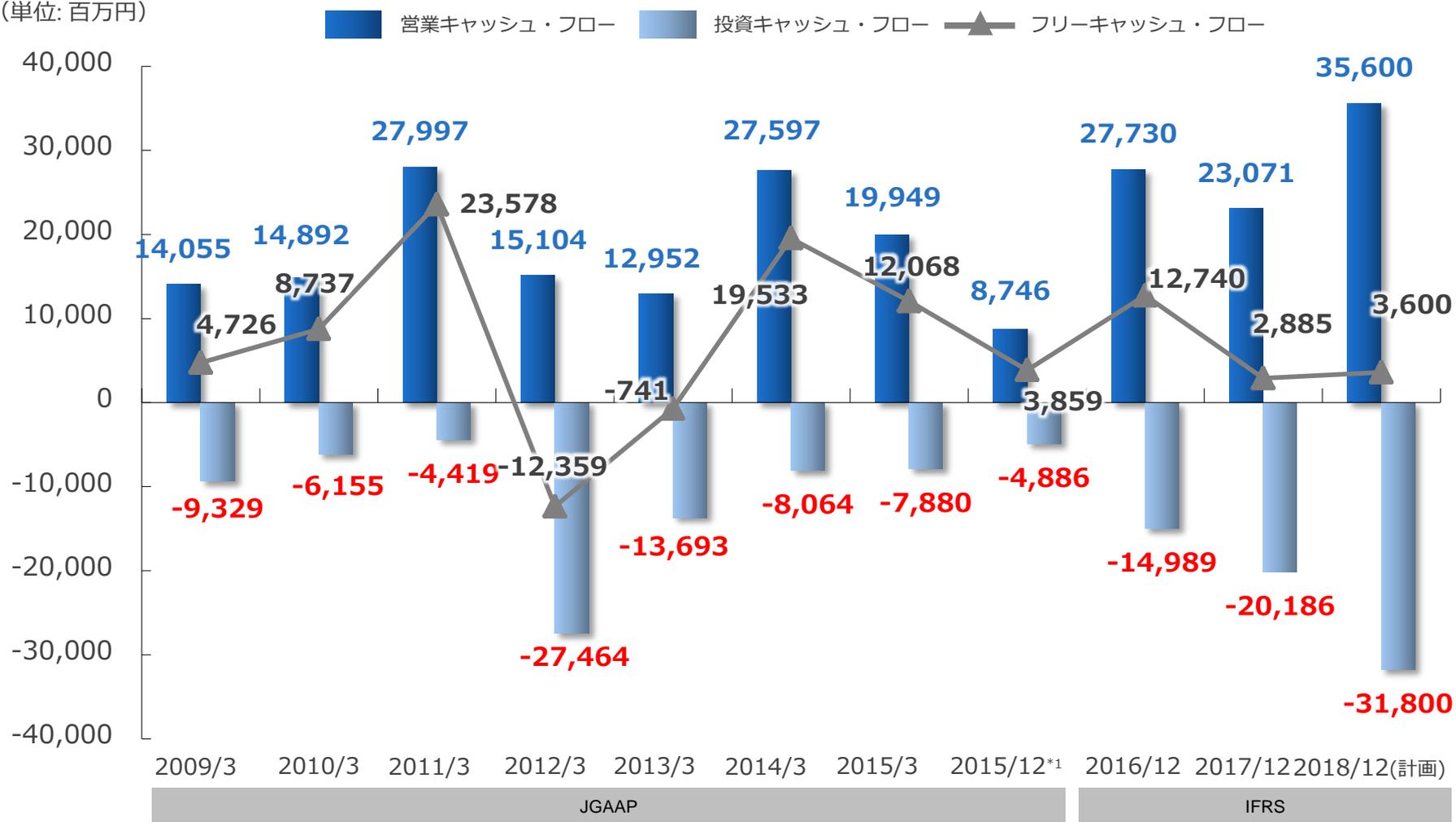
## 主要顧客 (敬称略)

### ■包装機

三井製糖、味の素、丸大食品、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、花王、ライオン、北米飲料メーカー、中国食品メーカー

# 連結キャッシュ・フロー

(単位: 百万円)



\*1 「2015年12月期実績(参考値)」として示す業績数値は、「2016年12月期実績(1-12月)」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間(12カ月間)に置き換えて算出した数値となりますのでご注意ください。

うごかす、とめる。

# Nabtesco

